

シンポジウム 「平和教育のこれから： ハワイと長崎をつないで」

2019年(令和1年)5月28日 火 18:00-20:30

長崎大学文教スカイホール・グローバル棟4階 (長崎市文教町1-14)

18:00~18:05

趣旨説明・問題提起 白井章詞 (長崎大学多文化社会学部・准教授)

18:05~18:25

平和の表と裏

—もしもトランプ大統領が原爆資料館を見学したら—

青来有一 (長崎大学核兵器廃絶センター客員教授・作家・元長崎原爆資料館長)

18:25~19:35 **事例報告**

・ハワイの事例1「パールハーバーにおけるプログレッシブ平和学習プログラム~若者が平和創造イノベーターになるために~」

Frank Middleton (Education Coordinator at National Park Service)

鶴見剛 (Hawai'i Innovative Knowledge Institute [HIKI] 代表)

・ハワイの事例2「地域社会活性化のための平和構築」

Jose Barzola (ハワイ大学スパーク・マツナガ平和研究所研究員・NPO法人Ceeds of Peaceディレクター)

・日本(長崎)の事例1「純心女子高校生の取り組み」

森ひばり (純心女子高等学校3年・生徒会長)

・日本(長崎)の事例2「多文化社会学部・学部生の取り組み」

永江早紀 (長崎大学多文化社会学部4年)

19:35~19:55

戦争と国家性 — 中東は一体どうなっているか —

ギョルベヤズ・アブドゥルラッハマン (長崎大学多文化社会学部・准教授)

19:55~20:25

ディスカッション 司会：鶴見剛

20:25~20:30

閉会の挨拶 葉柳和則 (長崎大学多文化社会学部・学部長)

お問い合わせ

白井 章詞(長崎大学多文化社会学部・准教授)
E-mail: shirai @ nagasaki-u.ac.jp

開催の趣旨

このシンポジウムでは、「ハワイと長崎との協働による平和教育実現の可能性」とそれを担う「若者の取り組みと挑戦」に焦点をあて、ハワイ・長崎それぞれの地域における平和教育の現状を紹介し、今後の展開を模索します。長崎大学多文化社会学部が主催するインターンシッププログラムの受入れ先の1つであるパールハーバーから講師をお招きしています。

前半は、日本における平和教育の中心的存在とも言える原爆資料館の取り組み、パールハーバーにおける新しい平和教育の立ち上げにむけた取り組み、そして開発が進むハワイが抱える課題と向き合った平和教育の取り組みを取り上げます。

後半は、長崎で核兵器廃絶や平和教育に取り組む若者たちの実践、更には平和・平和教育を考えるうえで、未だ戦禍の絶えない中東地区の現状について紹介します。更にパネルディスカッションでは、ハワイと長崎における実践事例をもとに、国境をこえて互いの知見を融合し、新たな平和教育の展望を目指して意見交換を行ないます。

講師紹介

青来有一（長崎大学核兵器廃絶センター客員教授・作家・元長崎原爆資料館長）

小説家。長崎大学教育学部卒。1995年に『ジェロニモの十字架』で第80回文学界新人賞を受賞し作家デビュー。2001年、『聖水』で芥川賞受賞。2010年から2019年3月まで長崎原爆資料館長。長崎を舞台にした連作集『爆心』で伊藤整文学賞、谷崎潤一郎賞受賞。



Frank Middleton (Education Coordinator at National Park Service)

ノースイースタン大学卒。1994年よりボストン国立アフリカ系アメリカ人歴史博物館にて若者を対象とした歴史、文化、環境学習プログラムを開発運営。2010年よりパールハーバーWWII Valor in the Pacific National Monumentで平和学習プログラムを提供。



鶴見 剛 (Hawaii Innovative Knowledge Institute代表)

コロンビア大学教育学大学院国際教育開発学研究所修了。専門はリーダーシップ開発、ダイバーシティ&インクルージョン教育と創造型平和学習。米国NPO法人ハワイ日米協会常任理事。東日本大震災の被災者を支援するチャリティ・プログラムを通じて200名以上の中学生を被災地からハワイに招聘。



Jose Barzola (ハワイ大学スパーク・マツナガ平和研究所研究員・NPO法人Ceeds of Peaceディレクター)

College国際ビジネスMBAホルダー。ニューヨーク州立紛争解決研究所にて仲裁資格者としてコミュニティ問題に従事。ハワイ大学にて平和教育スペシャリストとして活躍する一方、コミュニティベース平和教育活動を行うNPO法人Ceeds of Peaceのプログラムディレクターも兼任。



ギョルベヤズ・アブドゥルラッハマン (長崎大学多文化社会学部・准教授)

大阪大学人間科学研究科にて「言語と音楽における意味：言語行為と音楽行為における変形過程」で博士号取得。多言語・多宗教の発祥地でもあるクルディスタン地域のサラフディーン大学で2年間准教授として勤務。主な研究分野は記号論、言語学、社会学、哲学。



白井 章詞 (長崎大学多文化社会学部・准教授)

法政大学大学院経営学研究科キャリアデザイン学修士課程修了、法政大学政策創造研究科キャリア・労働政策コース博士課程中退。専門は、大学生のキャリア教育、若者の職業選択。多文化社会学部の就職支援およびインターンシッププログラムの責任者。



森ひばり (純心女子高等学校3年・生徒会長)

平和祈念式典での「千羽鶴」合唱・校内での原爆慰霊祭・生徒会による永井博士のお墓や第13医療隊跡地の清掃活動・国立市平和こども派遣団との交流会を展開。高校生一万人署名活動に従事。



永江早紀 (長崎大学多文化社会学部4年)

ナガサキ・ユース代表団として、核軍縮・不拡散問題に関する国際会議への参加とその事前事後の活動を通じて、最新の国際情勢について学ぶ。核兵器廃絶や平和教育に関わる活動を展開。



交通アクセス(長崎大学文教キャンパス・文教スカイホール)

JR長崎駅から

路面電車「長崎駅前」→(赤迫行き)→「長崎大学」下車
長崎バス「長崎駅前」→(1番系統)→「長崎大学前」下車

長崎空港から

県営バス「長崎空港4番のりば」→(昭和町・浦上経由長崎方面行き)→「長大東門前(旧:長大裏門前)」下車